

ため池マップ・ため池ハザードマップについて

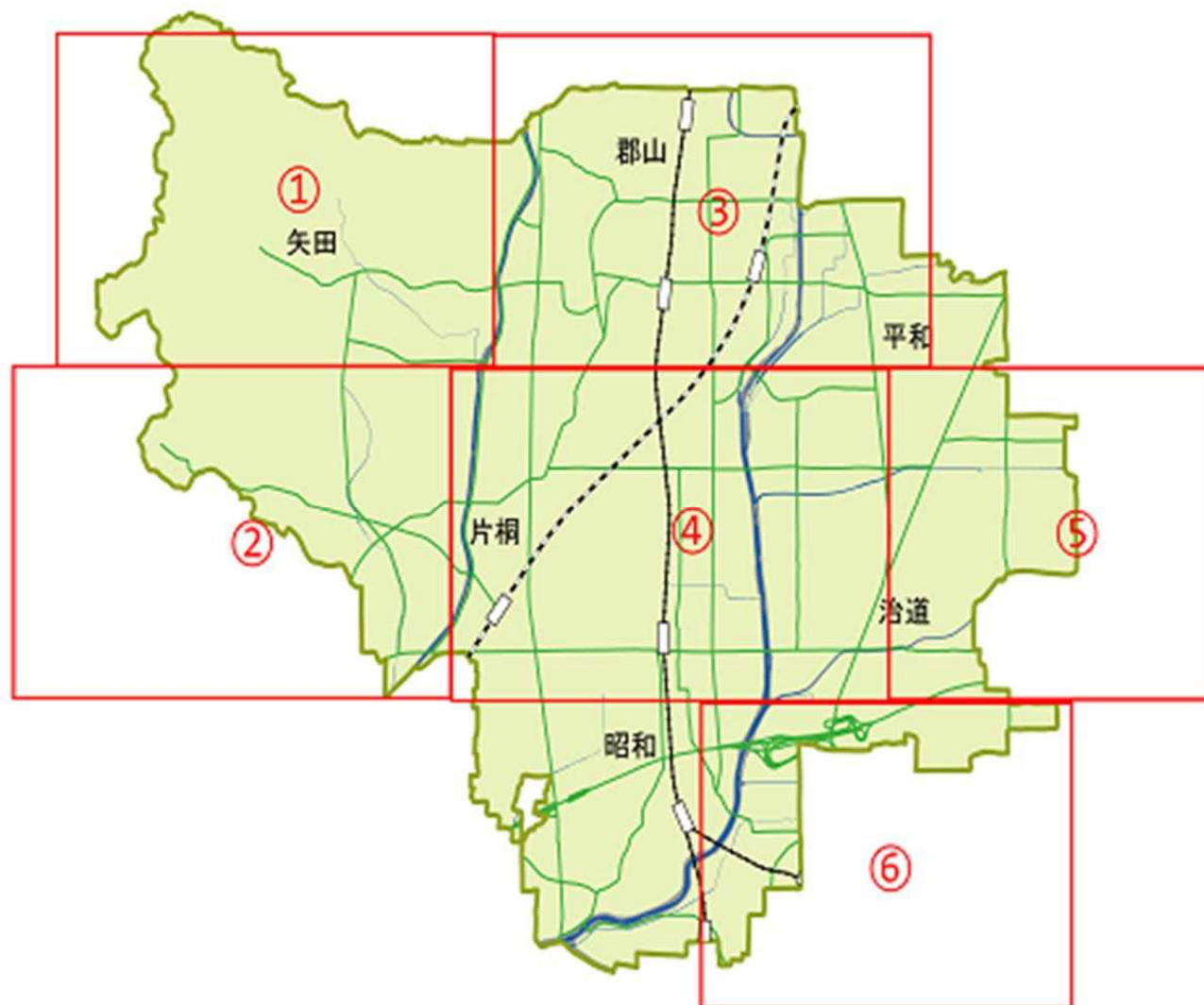
平成30年7月豪雨を踏まえ、国が防災重点ため池の選定基準を見直しました。
新基準により選定された市内の防災重点ため池※1について、ため池マップ及びため池ハザードマップを公表します。

※1防災重点ため池とは、万が一決壊した場合の浸水想定区域図に家屋や公共施設が存在し、人的被害を与える恐れのあるため池です。

ため池自体の危険性により選定されたものではありません。

ため池マップとは？

ため池マップは、防災重点ため池の位置及び基本データを示した地図になります。
ため池マップは下記地図の図郭の通り、6種類あります。
「ため池ハザードマップ」はため池マップ①～⑥の順に沿って綴ってあります。



ため池ハザードマップとは？

ため池ハザードマップは、地震や大雨によって万が一ため池が決壊するおそれがある場合または決壊した場合に迅速かつ安全に避難するために役立つ情報を提供するものです。

また、住民のみなさんがため池ハザードマップを通じて想定される被害を知ること、地域の防災・減災力の向上に取り組まれることを目的としています。

ため池ハザードマップの注意点

自然災害とは複雑なものであり、その発生地点や発生規模などを特定することはできません。よって、ため池ハザードマップに浸水想定区域や避難場所等を記載しておりますが、想定を超える降雨や隣接する河川の氾濫等により、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。あくまでも一つの想定ですので、実際の災害時には想定を上回る可能性があることに留意し、迅速な避難行動をお願いします。

浸水は徐々に広がっていくため、浸水区域全体で同時に発生することはなく、浸水深は瞬間の最大深さであり継続的な深さを示したものではありません。

最後に、ため池ハザードマップが公表されたため池が直ちに危険であることを示すものではありません。

ため池の決壊要因

全国的には、次のような要因によりため池が決壊した事例があります。



大雨のとき
大雨の時、ため池の水位が上昇し、堤防を越えた水の勢いで堤防が侵食され、決壊した事例があります。流木等が洪水吐の断面を閉塞させると、堤部を越流しやすくなり、堤防侵食のおそれが高まります。



大地震のとき
大地震の時、ため池の堤防が異常な力を受けて亀裂が生じることや、地盤の液状化によって強度が低下し決壊した事例があります。損傷の具合によっては、本震直後ではなく、余震で決壊することもあり注意が必要です。

ため池の異常を確認したら…

大雨や地震の際に、ため池の異常を確認された場合は、下記までご連絡ください。

連絡先	電話番号
大和郡山市役所 農業水産課	0743-53-1151